

高次脳機能障がい部会 報告書

会議名	第3回 高次脳機能障がい部会
開催日時	令和6年3月12日(火) 18時20分～20時40分
開催方法	ハイブリット方式(板橋区役所教育支援センター研修室、オンライン Zoom 方式併用)
出席者数	36名(内7名オンライン参加) (内訳) 部会長1名、副部会長1名 支援者: 板橋区立障がい者福祉センター4名、区内介護事業所3名、 区内訪問看護事業所2名、おとしより相談センター1名 社会福祉協議会1名、おむすび1名、虹の会1名、 いたばし高次脳機能障がい家族会1名、 竹川病院8名、豊島病院5名、健康長寿医療センター2名、 日本大学板橋病院 1名、高島平中央総合病院 1名、 木村整形外科1名 行 政: 障がい政策課2名

第1部 報告事項

題 材	1 令和5年度第1回、第2回 高次脳機能障がい部会報告 2 同部会 アンケート結果報告
概 要	1 令和5年6月、令和6年1月に実施した高次脳機能障がい部会の報告 高次脳機能障がい部会長 會田 玉美 氏 2 同部会 アンケート結果報告 竹川病院 言語聴覚士 伊藤 千夏 氏 同部会開催後、参加者にアンケートを依頼し、集計した結果を報告。 どちらの部会も満足された意見が多かったが、高次脳機能障がいの理解啓発の 推進や、当事者やその家族でも理解できる工夫が必要との意見があった。

第2部 1 事例紹介

概 要	「高次脳機能障がい事例 クモ膜下出血後生活の再建を目指す」 ・事例説明 高次脳機能障がい部会長 會田 玉美 氏 ・医学的見地から 豊島病院 リハビリテーション科 部長 中島 英樹 氏 ・高次脳機能障害とADLの見地から 竹川病院 言語聴覚士 高橋 捷平 氏 ・福祉リハの見地から 板橋区立障がい者福祉センター相談支援専門員 山口 圭一 氏 ・家族会、当事者から 中途障害をもつ人のデイサービスをつくろう会代表 本山 千恵子 氏
-----	---

第2部 2 グループ検討

題 材	事例についての検討 各グループより発表 総評
グループ数	5グループ(対面 4グループ、Zoom 参加者 1グループ)
概 要	5~6名の参加者とグループファシリテーター 参加者を 支援機関職員、医療機関職員、行政職員等を各班に分け、それぞれの立場から当事者や家族への具体的な支援の方法など、意見を出し合った。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介後に様々な見地から、資料を基に高次脳機能障がい整理をしながら、事例に当てはめて考えられた。また、様々な立場から補足して下さり、分かりやすかった。 ・グループワークでは、多職種・各職種の視点や専門的な意見を聞くことができ、大変参考になった ・当事者の具体的な生活・困りごとを知ることができて良かった。